

湯沢町観光振興計画（案）パブリックコメントにおける
ご意見の内容と町の考え方について

湯沢町観光振興計画は、町民と行政が一体となり、将来の湯沢町における観光振興を図るための基本的な考えを示すものです。

1 パブリックコメントの実施結果について

- (1) 募集期間 平成 25 年 2 月 1 日（日）～3 月 2 日（土） 30 日間
- (2) 意見の応募者数 2 名
- (3) 意見の件数 17 件
- (4) 提出方法の内訳

提出方法	FAX	E-メール	郵送	持参	合計
意見応募者数		1		1	2
意見件数		4		13	17

2 ご意見の内容と町の考え方について

番号	ご意見	町の考え方
1	<p>（序論）</p> <p>昭和 49 年の湯沢町観光総合開発計画ではテーマを「2 万人観光都市づくりと緑のレクリエーション空間計画」、平成 10 年の湯沢町観光振興計画でも町全体を一つの観光空間と位置付けて観光地整備の展開を示している。湯沢町が観光立町を今後も目指すのであれば全町、全地域を観光施設と位置付けた展開が必要である。この計画にはこのことが明確に現れていないように思われる。ぜひとも計画の総論で湯沢町全体を観光空間とする記述が必要であり、町全体で観光客をもてなす姿勢も打ち出すべきである。</p>	<p>計画には記載しませんが、「第 4 章 1 湯沢町観光振興計画の考え方」に「観光地づくりは、まちづくりの結果」と記載をしております。これは湯沢町全体のまちづくりが観光地づくりとの意味で記載しておりますので、町全体を観光空間にするということとは、全く同じではありませんが、町全体を観光地とする考えは同じだと考えています。町全体で観光客をもてなす姿勢については「基本戦略 5 の戦術の地域のホスピタリティーの醸成」の中で観光客をもてなす姿勢が町全体に広がっていただければと考えています。</p>

番号	ご意見	町の考え方
2	<p>(序論)</p> <p>就労者の4割以上が直接観光関連の仕事に従事していると想定しているが、観光振興計画では直接、間接を問わず観光関連の仕事に従事している人を想定すべきであり、第3次産業従事者79.9%を掲げ観光施策を展開すべきではないか。</p>	<p>ご意見を参考に次のように修正します。</p> <p>序論に記載のある「就労者の4割以上が直接観光関連の仕事に従事」を「就労者の8割以上が、観光産業を中心とした第三次産業に従事」に修正します。</p>
3	<p>(序論)</p> <p>総合計画の観光分野を取り出した観光振興計画と位置付けるならば、総論に終わらず具体的な展開が示されるべきではないか、このままでは総合計画の観光分野の詳細化にすぎず、戦略が抽象的で解りづらい。もう少し踏み込む必要があると思われる。</p>	<p>事業等の具体的な展開については、事業実施者が状況等を考慮して、具体的な事業を実施していくものと考えていますので、計画に記載するのは難しいと考えます。以上のことから計画について、抽象的な表現が多くなっています。</p>
4	<p>(序論)</p> <p>現状分析や観光振興の基本的な考え方において、雪国観光圏の認識と類似部分が多く見られることから、方向性は同じであり、今後の展開に雪国観光圏による展開を強く出しても良いのではないか。</p>	<p>計画には記載しませんが、雪国観光圏とは第5章の基本戦略4広域観光の推進を中心に協力体制をとりながら、事業を推進していければと考えています。</p>
5	<p>(第1章2の)</p> <p>当町と関連の深いレジャーの動向中、スキー人口等の数値が全国の動向であるならば、もう少し明快な表記が必要ではないか、この表記だと町の数値と混同してしまうのではないか。</p>	<p>ご意見を参考に次のように修正します。</p> <p>第1章 2. 観光動向の変化 当町と関連の深いレジャーの動向 に記載のある「当町の観光なのであるスキーなどの入り込み状況をみると」を「当町の観光の柱であるスキーについて国内スキー人口をみると」に修正します。</p>

番号	ご意見	町の考え方
6	<p>(第3章1の)</p> <p>湯沢観光の抱える問題点として、スキー観光依存からの脱却を表題としているが、湯沢が世界に誇れる特性は雪国であり、その活用によってスキー産業を基幹産業として発展してきた。スキー観光を湯沢町の文化として捉え、スキー観光依存からの脱却ではなく、スキー観光を含めた四季型観光の進展を図るべきである。</p>	<p>ご意見を参考に次のように修正します。</p> <p>第3章 1 .湯沢町観光の抱える問題点 「 スキー観光依存からの脱却と通年型観光への移行」を「 スキー観光を含めた通年型観光への移行」 に修正します。</p>
7	<p>(第4章1)</p> <p>就労者の4割以上が直接観光と関連する仕事についているという表現は、観光立町湯沢にとっては相応しくない表現だと思う。直接、間接を問わず第3次産業(サービス業)の就職者が何らかのかたちで観光産業に関連しているはずである。</p>	<p>ご意見を参考に次のように修正します。</p> <p>第4章 1 .湯沢町観光振興計画の考え方に記載のある「就労者の4割以上が直接観光関連の仕事に就いています」を「就労者の8割以上が、観光産業を中心とした第三次産業の仕事に就いています」に修正します。</p>
8	<p>(第4章2の)</p> <p>外国人観光客の誘客促進はターゲットを絞り、対応する手法も必要があるのではないか。国によって観光客の求めるものが異なり、すべての外国人観光客に対応する姿勢では観光客の満足度を得ることは難しく、リピーター獲得の障害になるのではないか。</p>	<p>ご意見のとおりだと思います。</p> <p>計画には記載ませんが、外国人観光客の誘客事業等を実施する際には、ターゲットの絞り込みは必要になると考えています。</p>

番号	ご意見	町の考え方
9	<p>(第4章2の)</p> <p>リゾートマンションオーナーの中には、町づくりの担い手となることを望んでいない人も多くいる。湯沢の人の邪魔にならず、湯沢で静かに、自由に生活したいと考えている人たちにも満足していただける施策も必要ではないか。</p>	<p>計画に記載されている、リゾートマンションオーナーに町づくりの担い手として参加していただくことについては、マンションオーナー全員に参加していただくものではなく、各種活動に参加希望される方に参加していただくことになると考えています。</p>
10	<p>(第4章2の)</p> <p>街中歩きのできる賑わい溢れる町づくりは、ある程度具体的な提言が必要ではないか。</p>	<p>事業等の具体的な内容については、事業実施者が状況等を考慮して、事業等を実施していくものと考えていますので、計画に具体的な内容を記載するのは難しいと考えます。</p>
11	<p>(第5章)</p> <p>観光振興に向けての基本方針として6項目の基本戦略が提案され、それぞれの戦術が示されているが、いずれも抽象的な一般論であり具体的な取り組みが見えてこない。少なくとも湯沢町の観光振興計画としては、策定委員会等で議論されたはずである具体的な方策の実効性を表すために前期、後期に分けた具体的なスケジュールを示す必要がある。</p>	<p>事業等の具体的なスケジュール等については、事業実施者が状況等を考慮して、事業等を実施していくものと考えています。計画に具体的なスケジュール等を記載するのは難しいと考えます。ただし、戦術については項目ごとの大まかなスケジュールとして、長期(5年以上)、中期(3~4年)、短期(1~2年)と期間について記載をしております。</p>
12	<p>(第5章基本戦略3)</p> <p>老朽化した観光施設等のリニューアルの方向性や整備計画を基本戦略として示す必要があるのではないか。</p>	<p>観光施設のリニューアルの方向性や整備計画については施設管理者が状況等を考慮して、実施していくものと考えていますので、計画に記載するのは難しいと考えます。</p>

番号	ご意見	町の考え方
13	(第5章) 今あるものが宝であり、それが観光資源とするならば、それを大切にしていなくさない方策を基本戦略として考えるべきではないか。	計画には記載しませんが、基本戦略1の中に、「自然環境の保全」、基本戦略2では「文化財の保存」「地域の文化の伝承」など今あるものについて、大切にしていことを記載をさせていただいておりますし、町としましても、自然など一度失われてしまうと元に戻すのが難しいものなどは、大切にしていかなければいけないと考えています。
14	スキー場共通リフト券の発売(宿泊者の増加になる)	計画には記載しないが、リフト券販売関係団体等に意見は伝えるようにしたい。
15	シニア層のリフト券無料化(例えば70才以上)	計画には記載しないが、リフト券販売関係団体等に意見は伝えるようにしたい。
16	マンションオーナーへの町民リフト券の販売	計画には記載しないが、関係部署で検討していきたい。
17	スキー場すべてを廻る無料シャトルバスの運航	計画には記載しないが、シャトルバス運行関係団体等に意見は伝えるようにしたい。

その他に湯沢町観光の活性化についての提案を1件いただきましたが、計画の内容に対する意見ではありませんでしたので、町の考え方については、回答いたしません。今後の事業実施の参考にさせていただきたいと考えています。